第4回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 会議録

1. 日 時 令和6年10月29日(水) 10時～11時

2. 場 所 南相馬市役所 東庁舎2階第3会議室

3. 出席委員(7人)

唐牛 歩 青木 圭太 畑山 慶子 飯塚 宏 和田 節子
森島 祐一 山田 一栄

4. 欠席委員(2人)

前川 直哉 佐藤 晃大

5. 議 事

(1) 報告事項

- ①令和6年度人権に関する標語の入賞作品の結果について
- ②令和6年度人権に関する講演会の報告について

(2) 協議事項

- ①令和7年度人権施策実施計画について
- ②その他

6. 会議録

○事務局(相良次長)

お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。ただいまより、第4回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議を開催いたします。私、本日の進行を務めさせていただきます、市民課 相良と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

— 欠席委員の報告 —

○事務局(相良次長)

次に会長挨拶になります。飯塚会長、よろしくお願ひします。

○飯塚会長

おはようございます。委員の皆さまにはお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今年度は標語の募集・審査・表彰、講演会の開催と非常に忙しかったです。それでは会議を始めますのでよろしくお願ひします。

○事務局（相良次長）

ありがとうございます。

ここからは、会長を議長として進行をお願いいたします。

○飯塚会長

それでは、議事に入る前に、会議録署名人の指名をいたします。

本日の会議録署名人には、森島祐一委員と山田一栄委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

○飯塚会長

それでは、次に書記の指名を議長よりさせていただきますが、よろしいでしょうか。

－ 異議なし －

○飯塚会長

それでは、書記に事務局の山田純一主査を指名いたします。よろしくお願いいたします。

○飯塚会長

それでは、議事に入ります。（１）報告事項①令和６年度人権に関する標語の入賞作品の結果について②令和６年度人権に関する講演会の報告について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（馬場係長）

それでは、資料１をご覧ください。こちらは、小学生３２８点、中学生４０８点の応募のあった標語から第２回人権推進会議の最終審査で選ばれた入賞作品の一覧となります。こちらの方々には、７月６日の「人権に関する講演会」時に表彰式を行っております。なお、数多く応募いただいた学校に対して、飯塚会長と事務局が学校を訪問し、学校賞として表彰しております。また、入賞した標語については、人権啓発物品に使用させていただいております。

次に、資料２をご覧ください。こちらは、７月６日に開催しました「人権に関する講演会」に来場された方々へのアンケート結果となります。設問７の「今回の講演会の内容は、満足のいくものでしたか。」の問いには「大変満足」「おおむね満足」との回答を多くいただきました。また、設問８「今後もこのような講演会を行うべきだと思いますか。」の問いには、「積極的に行うべき」との回答を多くいただいております。また、「講演会に来ないような市民への周知が大切」「時間が足りなかった」「もっと時間が長くても」という意見がありましたので、次年度は講演時間を少し長くしたいと考えております。

次に、参考資料ですが、職員を対象に行った「性的マイノリティに関する職員研修」に係るアンケート結果をご覧ください。こちらは４月２３日に前川委員を講師として、南相馬市全職員を対象に開催しました。また、管理職の参加者が多く、関心の高さがうかがえました。研修内容については「とても有意義だった」との意見が多く、性的マイノリティ

やLGBTQへの理解が「とても深まった」が21%、「深まった」が79%の回答をいただいております。この研修は、かなり好評だったので、前川委員が引き受けていただけるのであれば、次年度もぜひ開催したいと考えております。

説明については以上です。

○飯塚会長

ただいま、事務局より説明がありましたが、ご意見・ご質問等ございますか。

○山田委員

職員に対して大変有意義な研修だが、職員の人権に対する意識付けを行うため、人権に関する行動指針やガイドライン、またはハンドブックなどを作成・配布してはどうか。

○事務局（馬場係長）

LGBTQに関しては、前川委員が監修し、福島県が作成したハンドブックがあり、これを参考とするよう職員に周知した経過がありますが、人権全般に関するものはなく、職員のハラスメント研修を実施している総務課などと連携し、今後、検討していきたいと思っております。

○飯塚会長

人権擁護委員にもガイドラインがあるため、参考にさせていただければ幸いです。

○畑山委員

窓口職員の対応が悪く、怒る高齢者を見かけた。何回説明しても理解できない高齢者はいます。人権に関することで、職員の高齢者に対する「話し方」「態度」などの職員研修は行われていますか。

○事務局（馬場係長）

主に窓口職員を対象とし、外部講師を招いた接遇研修、また、高齢者に関しては「認知症サポーター養成講座」、障がい者に関しては社会福祉課が主体となり、職員研修を実施しております。

関係各課で人権に関する職員研修を行っておりますが、職員へ浸透していないという声も聞かれるので、その辺もガイドラインに組み込んでいければと思います。

○飯塚会長

入賞した標語を掲載した人権啓発物品は、南相馬市全体で何部準備しましたか。

○事務局（馬場係長）

南相馬市全体で800部準備しました。

○飯塚会長

それでは、ほかにご意見・ご質問等ございますか。

— なし —

○飯塚会長

それでは、次に（２）協議事項①令和７年度人権施策実施計画について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（馬場係長）

それでは、資料３をご覧ください。こちらは、令和６年度の実施内容及び今後の予定と令和７年度の計画（案）となっております。令和６年度に実施した「人権に関する標語」の募集を令和７年度も引き続き行うか、令和６年度の入賞した標語を使用した「ミニのぼり旗デザイン」の募集とするかをご協議いただきたくお願いいたします。

「ミニのぼり旗デザイン」の募集の内容については、資料４をご覧ください。対象は、市内の小学４年生～６年生、中学生、高校生を含む一般人と考えております。令和６年度人権に関する標語の入賞作品を使用したミニのぼり旗のデザインを募集し、部門ごとに、最優秀賞、優秀賞、佳作を１名ずつ選び、表彰式を行います。入賞作品はミニのぼり旗及びステッカーを作成し、市民課ホール等へ設置し、啓発を図りたいと考えております。また、募集方法については、小中学生は今年度同様、学校へ依頼し、一般については、広報みなみそうまやホームページへ掲載して募集することを考えております。

○飯塚会長

ただいま、事務局より説明がありました。次年度も引続き「人権に関する標語」の募集を行うか、または今年度入賞した標語を使用した「ミニのぼり旗デザイン」の募集を行うか、皆さまからご意見を出していただければありがたいです。

○事務局（馬場係長）

ポスターという案もあったのですが、他課で実施した際に応募が少ないとの声があり、また、人権をテーマとしたポスターとなると難しく、学校と応募者の負担も大きいので、絵ではなく色味等のみのミニのぼり旗のデザインであれば、様々なアイデアが出るのではないかと考えました。

○和田委員

現場側の感覚としては、標語よりミニのぼり旗デザインのほうが応募は少なくなると思います。いいデザインができてくるとは思いますが、限られた生徒のみからという感じがします。

また、標語、ポスター、ミニのぼり旗を作成するのに、子どものインプット量が少なく感じる。標語を見ても、子どもがイメージする人権は「いじめ」だけと言っても過言ではなく、少し踏み込んで「障がい者」というレベルです。情報が少ない中でこういったもの

を作成させるのは難しいものと感じております。作品が表面的なもの、あっさりしたものになってしまうため、学校では学習を深めていく中で、出てきた言葉を引き出せるようにしていかなければならないと考えております。学校には交通安全の標語など、ほかにも様々な依頼がありますが、学習を深める前に言葉を出さなければならない状況にあります。ただ、定着させるには、同じことを繰り返す必要があると考えます。相双地区では「17字のふれあい」というものが長く行われており、学校側で夏休みの宿題として出し忘れると保護者より連絡が来るほど定着しているため、このぐらい定着させられるとよいのではないかと思います。

○青木委員

社会福祉協議会では「福祉のスローガン」というものを5～6年前から実施しており、ようやく定着してきたところです。「福祉」というキーワードを使用し、小学生・中学生・高校生・一般と分けて募集しておりますが、デザインよりも言葉だけのほうが取り組みやすいのかなと感じています。また「福祉のスローガン」では、一般部門が他の部門と比較すると1/10程度しか募集しかかないため、ミニのぼり旗デザインの一般部門も同様になることが想定されます。標語を継続して定着させたほうがいいと思います。

○和田委員

両方の実施は難しいでしょうか。

○事務局（馬場係長）

標語・デザインのいずれか1点を選択しての募集であれば可能であると考えます。

○和田委員

標語は見える形に可視化する必要がありますが、公表・発信という意味でミニのぼり旗は有効です。人目にふれるという意味では効果があるものと考えます。

○和田委員

標語を毎年実施するメリットとして、記述式の言葉をAIにかける「テキストマイニング分析」を行い、多く使われている言葉やその関連性を分析することで、時代の変化を知ることができます。評価をする際に、例えば初年度は「やさしさ」「思いやり」という言葉が多かったが、10年後には「LGBTQ」という言葉が多く使われていたというように、人権意識がどの程度高まったのか、どういう方向へ関心が向いているのかといった評価・検証を行う材料になると思います。実際、学校では児童生徒や保護者のアンケートの分析に活用しております。

○飯塚会長

ミニのぼり旗に係る制作数・設置場所・予算について、教えていただきたい。

○事務局（馬場係長）

制作数は3セット、設置場所は市役所及び各区役所窓口、予算は県補助対象で削減される可能性はあるが必要経費を確保できるよう努めてまいります。

○森島委員

区長会でもポスターや標語等、同じことを繰り返し実施しているが、よく周知ができていると思います。ただ、このミニのぼり旗については、市役所等の特定の場所でしか見れないとなると周知不足感があり、数多く啓発に使用できるほうが良いと思います。

また、小中学生においては、年に何回も標語・ポスター等を作成しなければならないため、作品がなかなか増えないように感じます。

継続するために周知は必要ですが、予算が削減されるとできることが限られてしまうと思います。

○飯塚会長

「標語のみ実施」「デザインのみ実施」「標語・デザイン両方実施」で多数決をとりたいと思います。

— 「標語・デザイン両方実施」に決定 —

○飯塚会長

次に、講演会について協議いたします。

○事務局（馬場係長）

令和6年度に実施した「人権に関する講演会」は参加人数が少なかったことから、令和7年度は他の行事と重ならないように、6月中旬から下旬の土曜日にしたいと考えております。

また、講演内容や講師、周知方法についても、ご協議いただきたくよろしくお願いいたします。

○飯塚会長

令和6年度はいろいろな事業と重なったようですが、令和7年度は重ならないようにしたいと思います。和田委員、令和7年度の原町区連P大会の日程は決まっていますか。

○和田委員

まだ決まっていませんが、例年、原町区連P大会は7月上旬に開催されます。

○飯塚会長

日程について、ご意見・ご質問等ございますか。

— なし —

○飯塚会長

日程については、6月中旬から下旬の土曜日といたします。

内容については、どんなものがよろしいでしょうか。皆さまからご提案をお願いします。

○飯塚会長

人権擁護委員会では、西山健司弁護士を講師にお招きして研修会を実施しましたが、市内在住の方にお問い合わせする方法もあると思います。また、福島市の株式会社クラロンは従業員100名のうち3割は障がい者を雇用しているそうです。人権に関する取り組み実績のある、この会社の取締役会長である田中須美子さんのお話しもおもしろいかと思います。

○山田委員

人が集まる講師を招くにはそれなりの費用が発生しますし、限られた予算であれば、周知やPRを工夫する必要がありますが、次年度予算はどのくらいを見込んでいますか。

○事務局（馬場係長）

次年度は県補助が削減されても、市の予算で対応できるよう財政部門と協議したいと考えております。

○山田委員

人権問題については市民課だけでなく、生涯学習課などでも実施していると思います。単独での実施が難しいとすれば、共催で実施できれば財源確保ができるかと思います。庁内における他課との連携も必要ではないかと考えます。

○事務局（相良次長）

庁内にて、協議させていただきます。

○飯塚会長

車いすラグビーパリパラリンピック代表、三春町出身の橋本勝也選手ですが、中学3年生の時の人権作文コンテストで最優秀賞を受賞しています。その作品の中で「金メダルを取りたい。」という目標を宣言しており、有言実行しています。この方であればネームバリューがあり、人も集まりますので候補のひとつにあげていただければと思います。

○森島委員

事務局案はありますか。

○事務局（馬場係長）

飯塚会長がおっしゃられた橋本勝也選手の講演会、または、今年度依頼した菅波香織弁護士によるワークショップ形式での開催を考えておりました。

○飯塚会長

それでは、橋本勝也選手、菅波香織弁護士、株式会社クラロン取締役会長 田中須美子氏を候補とし、事務局で調整いただくことでよろしいでしょうか。

－ 異議なし －

○飯塚会長

それでは（２）協議事項②その他に入ります。

○事務局（馬場係長）

次回開催は令和7年2月6日（木）、時間は未定ですが、本日と同じ会場となりますのでよろしくお願いいたします。

○飯塚会長

そのほかなければ、以上で議事について、すべて終了いたします。委員の皆さまには、慎重審議ありがとうございました。それでは事務局へお返しいたします。

○事務局（相良次長）

飯塚会長には、長時間にわたり議事進行をいただき、ありがとうございました。最後に委員の皆さまから、何かございますでしょうか。

○山田委員

福島県でパートナーシップ制度を導入しましたが、福島県と南相馬市の関係はどういう状況でしょうか。

○事務局（馬場係長）

連携協定を締結しており、福島県か南相馬市のいずれかで申請していれば、双方のサービスを受けられるようになります。今後、双方のホームページにて周知を図っていく予定です。

もうひとつ、11/1（金）の定例記者会見において、南相馬市としてMyじんけん宣言を行います。福島地方法務局長・人権擁護課長・相馬支局総務係長・人権擁護員が同席し、セレモニーを実施いたしますのでご報告させていただきます。

○飯塚会長

福島県の自治体では第1号となります。

○畑山委員

宣言内容を教えていただけますか。

○事務局（馬場係長）

ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権条例第1条をわかりやすくまとめたものとなりました。Myじんけん宣言は法務省が推奨おり、人権啓発を図るための事業になります。

○飯塚会長

市職員全員が人権を尊重し、窓口対応もMyじんけん宣言したとおり行いますといった意識づけとなります。

○中本部長

畑山委員よりいただいた市職員の接遇について、高齢者に対応する研修、障がい者に対応する研修、接遇研修と行っていますが、継続していくことが重要であると考えます。合理的配慮や目配り気配りができていない職員もいるので、この件に関しては、市の定例部長会において、私から積極的に発信したいと思います。

また、市の総合計画の中に「つなぐ」「よりそう」「いどむ」という3つのキーワードがあります。市職員が市民にしっかり寄り添う対応ができるようにしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○事務局（相良次長）

そのほか委員の皆さまから、何かございますでしょうか。

— なし —

○事務局（相良次長）

なければ、以上をもちまして、本日の日程はすべて終了となります。委員の皆さまには、長時間にわたり慎重なる審議をいただきまして、誠にありがとうございました。

今後の会議の運営にあたりまして、委員の皆さまには、大変お忙しい中とは存じますが、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げ、本日の第4回推進会議を閉会とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

令和 6 年 11 月 12 日

会議録署名人

森島 祐一

山田 一栄